



9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6

平成二年三月

各務原市資料調查報告書第十二号

各務原市文書史料目錄五

各務原市歴史民俗資料館

各務原市文書史料目録

各務原市文書史料目錄五

各務原市文書史料目録正

序

わが郷土、各務原市も時代の進展とともに大きく変わろうとしています。しかし飛躍とともに忘れてならないことはその土地の自然とそこで育ち育つてきた文化ではないでしょうか。

蘇原伊吹町も長い歴史と伝統を継承しながら今日の繁栄をむかえましたが、その先人が書き残した尊い古文書が、広報会に広わり保存されています。この古文書を地域史研究の資料として活用するため、歴史民俗資料館で分類整理し、ここに「文書史料目録五」として発刊できることは誠に有意義なことと思います。

また、この古文書の中には江戸・明治の記録が多く残され当時の為政者の記録ばかりでなく、歴史の流れの中に生きた庶民の生々しい記録も多く、この地域独自の記録も含まれ、地域史研究のためにも貴重なものであり、これからも長く保存されることを願っています。

なお、この史料目録を作成するにあたって、快くご協力をいただきました広報会長さんをはじめ、地域のみなさま方に厚くお礼を申し上げます。

平成二年三月

各務原市教育委員会

教育長 水野定之

目次

凡序
例

蘇原伊吹町広報会所蔵文書

- (一) 支配関係……………1
- (二) 村政関係……………1
- (三) 貢租(年貢・小物感)関係……………6
- (四) 土地(検地・免租)関係……………12
- (五) 農政関係……………15
- (六) 土木・水利関係……………17
- (七) 文化(学芸)関係……………19
- (八) 文化(宗教)関係……………20
- (九) 社会(習俗)関係……………20
- (十) 社会(兵事)関係……………21
- (十一) 交通関係……………21
- (十二) 絵図関係……………21

蘇原伊吹町の要遼……………24

編集後記……………24

干支早見表……………24

凡 例

- 一、この文書目録は、第一号から四号までの発刊以後、平成二年一月までに新しく所在が確認された蘇原伊吹町広報会所蔵文書を掲載した。
- 二、この文書史料目録は、伊吹町広報会に伝わる近世・近代文書を、次の項目に従って分類整理したものである。
 - (一) 支配関係、(二) 村政関係、(三) 貢租(年貢・小物感)関係、(四) 土地(餘地・免租)関係、(五) 農政関係、(六) 土木・水利関係、(七) 文化(学芸)関係、(八) 文化(宗教)関係、(九) 社会(習俗)関係、(十) 社会(兵事)関係、(十一) 交通関係、(十二) 絵図関係
- 三、史料の記載は、史料番号・年次・表題・数量の順である。
- 四、年次は、年号・年・十支・月(一部分年号・年)までとし、日は省略した。年号のないものや月のみのものは年代不詳とした。

一、表題は、原文書に明記してあるものはそのまま記載したが、内容を示すため(一)で囲んだり、整理担当者で仮表題を付けたものがある。

二、簿冊・綴あるいは一紙文書か、その形状および大きさを明らかにするのが本位であるが、その区別は省略した。

三、この文書史料目録の作成は、市歴史民俗資料館主任主査兼学芸係長齋藤文彦、同指導主事宮崎憲一、同指導員足立秀成、佐藤浩子・星野文子が担当した。

蘇原伊吹町広報会所蔵文書

(一) 支配関係

一	寛政二年甲申五月	御役所より被仰度候控書	三三	嘉永六年己丑月	岩田三郎御代官様御直書御口上書
二	文化四年卯四月	朝經人琉球人御書帳	三二	安政五年辛酉月	触状(公方種奉御)
三	〃	御旗村々用心	二四	慶応元年丑	農商ニ布告
四	〃	御御扶写張	二六	四年辰丑月	御取掛御沙汰書
五	天保八年酉二月	酒造並金銀通用御懸写	二七	明治二年丑五月	笠松御判所御布告
六	九年戌正月	御懸写(村々取給懸書)	二八	〃	岐阜県令 第三号
七	九年戌七月	御懸写(足助書)	二九	〃	岐阜県令 三十七号(伐木停止林輸入懸)
八	〃	御懸写(村々取給懸書)	三〇	〃	京都府懸書
九	〃	御懸写(御懸書)	三一	〃	去ル因金之内五分通御直御懸書帳
一〇	〃	御懸写(村々取給懸書)	三二	〃	触状(式金御引替)
一一	〃	御懸写(以銀銭持取若外之儀)付御懸書	三三	〃	触状(式金御引替)
一二	〃	御懸写(以銀銭持取若外之儀)付御懸書	三四	〃	触状(村々取給)
一三	〃	御懸写(以銀銭持取若外之儀)付御懸書	三五	〃	触状(通用金の御懸)
一四	〃	御懸写(以銀銭持取若外之儀)付御懸書	三六	〃	御懸写書懸文
一五	〃	御懸写(以銀銭持取若外之儀)付御懸書	三七	〃	藩州方面河原村百姓安懸下男
一六	天保四年卯六月	御懸書	三八	〃	触状(村々取給)
一七	〃	御懸書	三九	〃	触状(五分御引替)
一八	弘化二年己丑月	御懸書	四〇	〃	御取掛(二付懸書方心得)
一九	〃	御懸書			触状(持荷)
二〇	〃	御懸書			
二一	〃	御懸書			
二二	〃	御懸書			

(二) 村政関係

一	延享四年卯四月	増米御書	四一	延享四年卯四月	増米御書	
二	天明八年甲四月	美濃國各郡村伊吹町細懸文書	四二	天明八年甲四月	美濃國各郡村伊吹町細懸文書	
三	寛政二年戊二月	堤邊御取二付懸人用御懸帳	四三	寛政二年戊二月	堤邊御取二付懸人用御懸帳	
四	〃	構架御書指圖書	四四	〃	五年丑八月	構架御書指圖書

四五 寛政 七郎卯二月 爲取替申一札之事 (打替事件)
 四六 八郎卯三月 出入并書留帳
 四七 御請書
 四八 文化 元年寅申申候 (立木伐採ノ返答書)
 四九 文化 二年巳卯申候 (立木伐採ノ返答書)
 五〇 寛政 八年辰九月 年悉以答書申候 (立木伐採)
 五一 寛政 八年辰九月 差上申渡口讀文之事 (境界争いノ件)
 五二 寛政 九年巳二月 差上申渡口讀文之事 (松木伐採ノ件)
 五三 寛政 九年巳二月 年悉以答書申候 (衣領取取ノ件)
 五四 寛政 九年巳二月 御請書
 五五 享和 二年申三月 差上申渡口讀文之事 (奉公給金ノ讀文)
 五六 文化 二年酉四月 出入并書別書留帳
 五七 文化 三年辰七月 御請書
 五八 寛政 八年辰九月 實(助)人足取決伏
 五九 五年辰 差上申一札之事 (出入并書御手当拜儀)
 六〇 二年亥四月 澳洲各郡伊吹村明細書上帳
 六一 二年亥四月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 六二 文政 三年辰正月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 六三 文政 三年辰正月 当国正月より同二月迄村入用帳
 六四 四年巳正月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 六五 五年申正月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 六六 六年未正月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 六七 七年申正月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 六八 八年酉正月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 六九 九年戌正月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 七〇 一年亥月 差上申一札之事 (字八幡義取島橋一件案文)

七 文政 〇年亥三月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 七二 二年丑三月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 七三 二年丑三月 御請書
 七四 天保 元年寅申月 当国正月より同二月迄村入用帳
 七五 二年卯申月 当国正月より同二月迄村入用帳
 七六 三年辰二月 舞台并建金方覽留帳
 七七 三年辰正月 当国正月より同二月迄村入用帳
 七八 四年巳月 当国正月より同二月迄村入用帳
 七九 五年午二月 年悉以答書申候 (打替争いノ件)
 八〇 六年未月 当国正月より同二月迄村入用帳
 八一 七年申月 傳奏取替小前留帳
 八二 八年酉月 住家取替遺書
 八三 八年酉月 当国大風ニ付遺文(御取小前書上帳)
 八四 九年戌月 伊吹村明細一節
 八五 九年戌月 伊吹村明細書上帳
 八六 〇年亥正月 当国正月より同二月迄村入用帳
 八七 一年子月 申渡遺文
 八八 二年丑月 申渡遺文
 八九 二年子月 当国正月より同二月迄村入用帳
 九〇 二年二月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 九一 二年丑月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 九二 二年丑月 澳洲各郡伊吹村長藏小人用帳
 九三 二年寅八月 当国正月より同二月迄村入用帳
 九四 二年寅八月 年村入用並以後城方取調取替書
 九五 二年寅八月 口讀書 (打替遺書)
 九六 二年寅八月 諸色取替下其之稱付被取調取替書
 九七 二年寅八月 年悉以答書申候 (打替争いノ件)
 九八 二年寅八月 御請書
 九九 二年寅八月 御請書

九七 天保 三年寅一月 金銀貨物不足之事
 九八 四年卯正月 当国正月より同二月迄村入用帳
 九九 四年卯九月 御請ニ付兼取取替書上帳
 一〇〇 弘化 二年三月 出入并書留帳
 一〇一 二年三月 爲取替申渡口讀文之事 (後捨掛訟一件)
 一〇二 二年三月 口讀書
 一〇三 二年三月 年悉以答書申候 (取替書上帳 (取替書))
 一〇四 四年生月 年悉以答書申候 (取替書上帳 (取替書))
 一〇五 五年申正月 年悉以答書申候 (取替書上帳 (取替書))
 一〇六 七年申正月 尾州御用木賣受活状
 一〇七 七年申正月 尾州御用木賣受活状
 一〇八 五年申 年悉以答書申候 (取替書上帳 (取替書))
 一〇九 五年申 年悉以答書申候 (取替書上帳 (取替書))
 一一〇 嘉永 二年酉四月 甲之年村小入用帳
 一一一 二年酉四月 干輪取調書
 一一二 二年戌 差上申一札之事 (熊田村新口村)
 一一三 三年戌月 差上申一札之事 (余門御掛断状)
 一一四 四年亥月 甲之年村小入用帳
 一一五 四年亥月 戊之年村小入用帳
 一一六 五年正月 甲之年村小入用帳
 一一七 六年丑月 仕切金定之事
 一一八 六年丑月 差上申御請書之事 (御請印形)
 一一九 七年辰月 甲之年村小入用帳
 一二〇 七年辰月 丑之年村小入用帳
 一二一 安政 二年卯月 寅之年村小入用帳
 一二二 二年卯月 花火傳奏御取調書印差上帳下書

一三三 安政 二年辰月 卯年村方小人用帳
 一三四 五年生月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一三五 六年未月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一三六 六年未二月 差上申一札之事 (廣合書状)
 一三七 七年申月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一三八 七年申月 差上申一札之事 (取替書)
 一三九 文政 元年酉月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一四〇 二年戌月 差上申一札之事 (取替書上帳 (取替書))
 一四一 三年亥〇月 差上申一札之事 (別家一札)
 一四二 三年亥〇月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一四三 三年丑月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一四四 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一四五 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一四六 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一四七 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一四八 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一四九 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五〇 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五一 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五二 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五三 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五四 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五五 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五六 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五七 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五八 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一五九 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六〇 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六一 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六二 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六三 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六四 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六五 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六六 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六七 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六八 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一六九 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七〇 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七一 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七二 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七三 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七四 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七五 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七六 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七七 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七八 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一七九 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八〇 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八一 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八二 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八三 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八四 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八五 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八六 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八七 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八八 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一八九 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九〇 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九一 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九二 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九三 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九四 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九五 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九六 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九七 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九八 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 一九九 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳
 二〇〇 元年寅月 当国正月より同二月迄村入用帳

一四八	明治八年癸	合併町村公稅取調簿	一七四	明治九年申酉月	諸領區用留課決録
一四九	明治八年癸	番町草見知	一七五	明治九年申酉月	米信帳
一五〇	八年癸	辰敷車屋引受登記	一七六	三年四月	役場定通知書
一五一	九年二月	村方貸付金帳簿	一七七	三年西月以降	伊吹区役員名簿
一五二	九年四月	銀行願下取調書	一七八	三年戌	水害地所特別免租額
一五三	九年午	町費御用留簿	一七九	〃	発信書類帳 附入台日誌
一五四	〇年正月	町費御用留簿	一八〇	〃	受信帳
一五五	〇年五月	集定定帳簿	一八一	〃	伊吹衛生組役員 農事実行委員
一五六	〇年五月二日	福地赤井印帳上納簿	一八二	〃	受信帳
一五七	一年四月	租地券未取之者調	一八三	明治三年子	諸領區引替目録帳 附諸議員共
一五八	一年夏	伝券防予防法	一八四	明治四年丑三月	御料地及立木下付帳
一五九	三年辰	放領用向書留簿	一八五	三年卯三月	積書帳
一六〇	七年申	放領用向書留簿	一八六	大正六年未だ	重要事務類帳
一六一	六年未	貸附金算統々取調帳	一八七	明治六年卯	決算書類
一六二	九年戌	貸附金算統々取調帳	一八八	〃	規定規約書類(蘇原村廢村改組規定)
一六三	九年戌	小松茂保列作案之備向	一八九	〃	照会帳
一六四	〇年亥	地方稅戶數割取調簿	一九〇	〃	伊吹區戶數割等帳下調書
一六五	〃	地方稅戶數追加附表	一九一	明治八年巳三月	諸領區外帳目録
一六六	〃	戶數割取調簿(但二名右等被割課決録)	一九二	〃	照会帳
一六七	〃	戶數割取調簿又へ本地個人名	一九三	〃	照会帳
一六八	〃	地方稅割取調簿	一九四	〃	蘇原村役場ヨリ連絡
一六九	二年子	明治二年度割取調等帳	一九五	〃	蘇原村役場ヨリ連絡
一七〇	〃	諸約定書類	一九六	〃	照会帳
一七一	〃	借簿ヨリ御達	一九七	〃	蘇原村役場連絡
一七二	二年丑〇月	振替帳目録	一九八	〃	蘇原村役場連絡
一七三	二年申四月	諸簿及申取用簿書類	一九九	〃	米信帳

二〇〇	大正三年三月	米信帳	二二六	昭和八年未	村手当上末期
二〇一	三年四月	通達書類	二二七	〃	領收書類
二〇二	三年寅	蘇原村伊吹戸數合帳	二二八	一九年申月	納稅事案組合設立届
二〇三	五年寅	米信帳	二二九	一九年申	町民下調書
二〇四	六年巳	諸領區	二三〇	〃	伊吹中地区津収交付算書
二〇五	大正六年巳	照会帳	二三一	〃	警備手段決算簿
二〇六	八年午	照会帳	二三二	〃	憲法公布祝典御禮定名算書
二〇七	九年申	米信帳	二三三	二年戌一月	憲法公布祝典御禮定名算書
二〇八	〇年酉	重要來文帳	二三四	〃	當西出入帳
二〇九	二年戌	通達書及報告書	二三五	〃	村境未定ノ件
二一〇	二年亥	米信帳	二三六	〃	御金取立文
二一一	四年酉二月	皇太子殿下御降臨奉祝記念簿用記	二三七	〃	各務文書
二一二	〇年子	区費領收書類	二三八	〃	各務文書(様式)
二一三	一年子	村手当	二三九	〃	当村(別)御禮書(様式)
二一四	一年子	消防用期前購入費徴收書	二四〇	〃	戸帳、期前借付帳状
二一五	二年寅	字込因調整原等之帳	二四一	〃	第一二番地統計帳
二一六	二年寅	紀元二千六百年奉祝費留帳	二四二	〃	美濃國各務部伊吹村長統計帳
二一七	五年辰	村手当 前中期	二四三	〃	該村印書帳
二一八	五年辰	村手当 後中期	二四四	〃	米穀取調検査ニ付調書
二一九	六年巳	村手当 上末期	二四五	〃	單動其帳調査帳
二二〇	〃	諸券取	二四六	〃	在札書付御品ノ番申上候(往來書)盜難也
二二一	六年巳〇月	組合積蓄帳	二四七	〃	差上申候諸書面次第
二二二	六年巳	消防役員名簿	二四八	〃	金銀御停止ニ付再轉写
二二三	〃	村手当 下末期	二四九	〃	金錢帳
二二四	七年申三月	蘇原伊吹区迎落常会名簿	二五〇	〃	一札事(不取ノ件也)
二二五	十年午	領收帳	二五一	〃	〃

四七五 文政 四年巳四月 辰御年貢普濟目録
 四七八 四年巳二月 巳御年貢司納附之事
 四八二 四年巳二月 七冊目高入帳
 四八六 五年午二月 巳御年貢普濟目録
 四六一 五年午二月 午御年貢司納附之事
 四六二 六年未四月 午御年貢普濟目録
 四六三 六年未二月 未御年貢司納附之事
 四六四 七年申四月 未御年貢普濟目録
 四六五 七年申二月 申御年貢司納附之事
 四六六 八年酉四月 申御年貢普濟目録
 四六七 八年酉二月 酉御年貢司納附之事
 四六八 九年戌四月 酉御年貢普濟目録
 四六九 九年戌二月 戌御年貢司納附之事
 四七〇 一〇年亥四月 戌御年貢普濟目録
 四七一 一〇年亥〇月 亥御年貢司納附之事
 四七二 一一年子四月 亥御年貢普濟目録
 四七三 一一年子二月 子御年貢司納附之事
 四七四 一一年丑一月 毎歲定次物請合帳
 四七五 一一年丑五月 子御年貢普濟目録
 四七六 一一年丑〇月 丑御年貢司納附之事
 四七七 一二年寅三月 丑御年貢普濟目録
 四七八 天保 二年卯四月 寅御年貢普濟目録
 四七九 二年卯〇月 卯御年貢司納附之事
 四八〇 三年辰三月 卯御年貢普濟目録
 四八一 三年辰〇月 辰御年貢司納附之事
 四八二 三年辰〇月 辰御年貢司納附之事

四八三 天保 三年辰 普濟目録写
 四八四 四年巳三月 辰御年貢普濟目録
 四八五 四年巳二月 辰御年貢司納附之事
 四八六 四年巳〇月 巳御年貢司納附之事
 四八七 五年午二月 巳御年貢普濟目録
 四八八 五年午四月 巳御年貢普濟目録
 四八九 六年未〇月 午御年貢司納附之事
 四九〇 六年未八月 午御年貢普濟目録
 四九一 六年未四月 午御年貢普濟目録
 四九二 六年未〇月 未御年貢司納附之事
 四九三 七年申四月 未御年貢普濟目録
 四九四 七年申五月 畑米代金御上納交文之願狀
 四九五 七年申〇月 申御年貢司納附之事
 四九六 夫食御代水御推小前取帳 下帳
 四九七 申歲天曉御書帳
 四九八 急天曉人別書上写 その他通
 四九九 在悉以書付奉願上帳(田家御稅御推借
 五〇〇 申普濟目録
 五〇一 八年酉二月 再夫食代水御推借小前帳
 五〇二 八年酉四月 申歲(以下欠)
 五〇三 八年酉四月 寬(御)勝御代巻
 五〇四 八年酉七月 去由畑方引込取書々写
 五〇五 八年酉〇月 酉御年貢司納附之事
 五〇六 八年酉二月 八冊目高入帳
 五〇七 八年戌月 酉御年貢司納附之事
 五〇八 西歲貯穀水取集帳

五〇九 天保 九年戌四月 戌御年貢普濟目録
 五一〇 九年戌〇月 戌御年貢司納附之事
 五一一 一〇年亥二月 戌御年貢普濟目録
 五一二 一〇年亥二月 御勝初貯所行切帳
 五一三 一一年子月 亥貯穀水取集帳
 五一四 一一年子月 二ヶ上納仕控下書 去子貯穀水取集帳
 五一五 一二年丑四月 子御年貢普濟目録
 五一六 一二年丑〇月 丑御年貢司納附之事
 五一七 一二年寅月 去子貯穀水取集帳
 五一八 一二年寅四月 丑御年貢普濟目録
 五一九 一二年寅月 乍米以書付御奉申帳(大差違作/屋書)
 五二〇 一三年寅月 新帳御定金儲積入用割賦帳
 五二一 一三年寅月 寅年貢割附之事
 五二二 一四年卯二月 貯穀小前取立書帳
 五二三 一四年卯四月 寅御年貢司納附之事
 五二四 一四年卯四月 卯御年貢普濟目録
 五二五 一五年辰月 辰年貢割附之事
 五二六 弘化 二年巳三月 貯穀經帳一件 前段向取書写
 五二七 二年巳四月 辰御年貢普濟目録
 五二八 二年巳月 巳御年貢司納附之事
 五二九 二年巳〇月 御定免年奉願御書
 五三〇 三年午一月 巳御年貢普濟目録
 五三一 三年午〇月 午御年貢司納附之事
 五三二 四年未四月 午御年貢普濟目録
 五三三 四年未四月 午御年貢普濟目録
 五三四 元年申〇月 申御年貢司納附之事
 五三五 元年申一月 畑方御向土芳 畑米 村隠帳

五三五 弘化 二年酉四月 申御年貢普濟目録
 五三六 二年酉月 乍悉以書付奉願上帳 年貢定免ノ願
 五三七 二年酉〇月 酉御年貢司納附之事
 五三八 三年戌〇月 戌御年貢司納附之事
 五三九 三年戌 貯穀水取集帳
 五四〇 四年亥月 貯穀御備小前普一帳
 五四一 四年亥四月 戌御年貢普濟目録
 五四二 四年亥〇月 亥御年貢司納附之事
 五四三 四年亥〇月 亥御年貢普濟目録
 五四四 五年子四月 亥御年貢普濟目録
 五四五 五年子〇月 子御年貢司納附之事
 五四六 五年子二月 諸役御訂備九ヶ年貢割賦帳
 五四七 五年子〇月 子御年貢普濟目録
 五四八 六年丑〇月 丑御年貢司納附之事
 五四九 六年丑二月 大旦御御領御納御御付切帳
 五五〇 六年丑八月 丑年貯穀普濟帳
 五五一 七東月 貯穀推借仕小前普濟帳
 五五二 七東月 丑御年貢普濟目録
 五五三 七東月 寅御年貢司納附之事
 五五四 安政 二年卯四月 寅御年貢普濟目録
 五五五 二年卯〇月 卯御年貢司納附之事
 五五六 二年卯二月 於冊目高入帳
 五五七 三年辰四月 卯御年貢普濟目録
 五五八 三年辰〇月 辰御年貢司納附之事
 五五九 四年巳四月 辰御年貢普濟目録
 五六〇 四年巳〇月 巳御年貢司納附之事

七六三 明治 六年國 地考之繪略計取調記 大六区十八ノ小區
 七六四 〃 〃 〃 美濃尾勢郡伊吹村惣領部林成茂地取調帳
 七六五 〃 〃 〃 租正基地下取調記
 七六六 〃 〃 〃 地租改正付儀券取調帳
 七六七 〃 〃 〃 地租調帳
 七六八 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七六九 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七〇 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七一 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七二 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七三 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七四 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七五 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七六 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七七 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七八 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七七九 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八〇 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八一 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八二 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八三 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八四 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八五 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八六 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八七 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八八 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七八九 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿
 七九〇 〃 〃 〃 地租改正付丈量積算簿

七八九 明治九年三月 戊午田米半石川下々記
 七九〇 〃 〃 〃 地所亦百箇書下調書
 七九一 〃 〃 〃 名寄地他惣目録
 七九二 〃 〃 〃 安原野方一件
 七九三 〃 〃 〃 地目交換名稱特取調帳
 七九四 〃 〃 〃 地目交換名稱特取調帳
 七九五 〃 〃 〃 地租取調帳
 七九六 〃 〃 〃 地租取調帳
 七九七 〃 〃 〃 地租取調帳
 七九八 〃 〃 〃 地租取調帳
 七九九 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇〇 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇一 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇二 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇三 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇四 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇五 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇六 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇七 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇八 〃 〃 〃 地租取調帳
 八〇九 〃 〃 〃 地租取調帳
 八一〇 〃 〃 〃 地租取調帳
 八一一 〃 〃 〃 地租取調帳
 八一二 〃 〃 〃 地租取調帳
 八一三 〃 〃 〃 地租取調帳
 八一四 〃 〃 〃 地租取調帳

八二五 昭和二年戊 請求書(重繁急防施設ノ土地)
 八二六 年代不詳 土地ノ開メノ積算書
 八二七 〃 〃 〃 土地整理(朱書)落地帳入願
 八二八 〃 〃 〃 山林野藪取調帳
 八二九 〃 〃 〃 落災地取調帳
 八三〇 〃 〃 〃 實地取調人別取帳(今南野、巳ヶ橋)
 八三一 〃 〃 〃 實地取調人別取帳(宇市後道上橋子内はイ)
 八三二 〃 〃 〃 道邊地取調帳
 八三三 〃 〃 〃 定廣田取調帳
 八三四 〃 〃 〃 測量略計丈量地目交換地帳入願計表
 八三五 〃 〃 〃 地券略計丈量地目交換地帳入願計表
 八三六 〃 〃 〃 測量略計丈量地目交換地帳入願計表
 八三七 〃 〃 〃 測量略計丈量地目交換地帳入願計表
 八三八 〃 〃 〃 測量略計丈量地目交換地帳入願計表
 八三九 〃 〃 〃 測量略計丈量地目交換地帳入願計表
 八四〇 〃 〃 〃 測量略計丈量地目交換地帳入願計表

八四一 年代不詳 乙第拾壹 拾四冊之內六
 八四二 〃 〃 〃 乙第拾壹 拾四冊之內九
 八四三 〃 〃 〃 乙第拾壹 拾四冊之內三
 八四四 〃 〃 〃 乙第拾壹 拾四冊之內五
 八四五 寬政 二年丑二月 瀨州郡歌入公郡郡伊吹村西春夜御請出形帳
 八四六 〃 〃 〃 寬政 二年寅二月 瀨州郡歌入公郡郡伊吹村西春夜御請出形帳
 八四七 安永 二年午 寬(山)普請書
 八四八 天明 五年酉月 瀨州郡務郡伊吹村春夜御請出形帳
 八四九 〃 〃 〃 天明 九年辰 瀨州郡務郡伊吹村春夜御請出形帳
 八五〇 〃 〃 〃 天明 九年辰 瀨州郡務郡伊吹村春夜御請出形帳
 八五一 寛政 四年子二月 差土申一札之事(八種伏御普請書)
 八五二 〃 〃 〃 用票水久禮伏御普請書
 八五三 〃 〃 〃 出入一件普請帳
 八五四 〃 〃 〃 年々御普請仕用帳
 八五五 〃 〃 〃 内務文事(運込め一件)
 八五六 享和 元年酉月 当西全御普請書付付帳
 八五七 〃 〃 〃 二年戌月 当西全御普請書付付帳
 八五八 〃 〃 〃 二年戌月 当西全御普請書付付帳
 八五九 文化 二年共月 丑春御普請出来形帳
 八六〇 〃 〃 〃 五年辰月 御普請明細帳
 八六一 〃 〃 〃 二年亥月 御普請明細帳
 八六二 〃 〃 〃 二年亥月 御普請明細帳
 八六三 〃 〃 〃 二年子月 御普請明細帳

(六) 土木・水利関係

九六二 安政 四年巳月 御祭礼ニ付之食子之内集帳
 九六三 万延 二年申 御神祭部簿集帳
 九六四 文久 三年庚申 年々祭門入御改帳
 九六五 文久 三年庚申 差入一札之事(元主部高預り約状)
 九六六 元治 二年子八月 為取替約定書事(八幡宮御祭礼)
 九六七 慶応 元年丑三月 濟口規定之事(八幡宮御祭礼)
 九六八 四年辰八月 御祭礼付之食子之内集帳
 九六九 四年辰 佛書ニ祭礼行について
 九七〇 明治 六年酉十月 佛書竹物取替帳
 九七一 六年酉一〇月 伊勢太神宮御初穂録々上納預預録
 九七二 八年亥月 埋葬取調帳
 九七三 八年亥月 寺地埋葬取調帳
 九七四 九年子九月 寺院仕職僧侶名簿書
 九七五 〃 〃 精毛山林等寺院簿書
 九七六 〃 〃 願書(柳加江見神社)
 九七七 〃 〃 御祭礼について
 九七八 〃 〃 耕毛地等僧持簿書
 九七九 〃 〃 伊勢田井木経殿寺附金前簿
 九八〇 〃 〃 八幡神社殿書ニ付本口親入合簿(金湯券前記)
 九八一 〃 〃 石巻神堂再建書帳
 九八二 〃 〃 八幡神社舊地改遷記
 九八三 昭和 八年度 領收書(八坂神社)
 九八四 〃 〃 祭典御調覽
 九八五 〃 〃 西別院建立奉附金運名帳
 九八六 〃 〃 八坂神社祭礼余興費附金
 九八七 〃 〃 祭礼御調覽

九八八 年代不詳 恩權の件
 九八九 〃 〃 社寺田畑山林取換帳
 九九〇 〃 〃 善勝姓名簿(善光寺 永代宿坊目録坊)

(九) 社会(習俗) 関係

九九一 嘉永 五年子九月 諸道貝借入帳
 九九二 安政 四年巳九月 かりもの通
 九九三 文久 二年戌正月 通函
 九九四 慶応 四年酉四月 人指書
 九九五 明治 八年酉九月 遊覧艇下舟車取替通帳
 九九六 〃 〃 二年亥二月 自家用科庫取立通帳
 九九七 昭和 五年辰 静岡市大火有志帳
 九九八 年代不詳 熱立ノ区長入札書人
 九九九 〃 〃 推記録
 一〇〇〇 〃 〃 寛

(十) 社会(兵事) 関係

一〇〇一 明治 五年丑正月 第八師團軍死軍入義振金記
 一〇〇二 〃 〃 三年辰三月 記録簿(義勇会)
 一〇〇三 〃 〃 三年辰三月 日露戦役ニ付国庫債券募録
 一〇〇四 〃 〃 三年辰三月 日露戦役他債長取納簿
 一〇〇五 〃 〃 三年辰三月 義勇会費取簿
 一〇〇六 〃 〃 三年巳四月 軍書目録人名簿
 一〇〇七 〃 〃 〃 〃

一〇〇八 明治 三年辰八月 郡義勇会南宮神社祈禱有志帳
 一〇〇九 〃 〃 〃 〃 水野勤二郎補助有志簿
 一〇一〇 〃 〃 〃 〃 明治三十七年度(山伏算簿)(義勇会)
 一〇一一 〃 〃 〃 〃 明治三十八年度(山伏算簿)(義勇会)
 一〇一二 〃 〃 〃 〃 明治三十八年巳三月 軍書目録連二點間袋等贈簿
 一〇一三 〃 〃 〃 〃 記録集(義勇会)
 一〇一四 〃 〃 〃 〃 義勇会費取簿
 一〇一五 〃 〃 〃 〃 伊吹ノ義勇会費簿
 一〇一六 昭和 七年申 鉄砲取替帳
 一〇一七 〃 〃 〃 〃 支那事変義勇会明細帳
 一〇一八 〃 〃 〃 〃 支那事変出 梅干、干草、工詰細簿
 一〇一九 〃 〃 〃 〃 支那事変義勇会費細簿
 一〇二〇 〃 〃 〃 〃 慰問有志帳
 一〇二一 〃 〃 〃 〃 配給地下足袋覧
 一〇二二 〃 〃 〃 〃 奉還贈収書帳
 一〇二三 〃 〃 〃 〃 供出贈収書 切干、梅干、乾草整理簿
 一〇二四 〃 〃 〃 〃 鉄砲特別取
 一〇二五 〃 〃 〃 〃 軍手配三人分書
 一〇二六 〃 〃 〃 〃 供出贈収書
 一〇二七 文化 五年辰正月 紀州陣御通行ニテアケ村より出帳一件
 一〇二八 天保 三年寅九月 五街道宿助部御取差上金簿文
 一〇二九 明治 元治 〇月 辰馬馬小口入御帳
 一〇三〇 〃 〃 〃 〃 助部入御帳

(十一) 交通 関係

一〇三一 明治 八年亥三月 成実倉依住人義振取簿記
 (十二) 絵 関 関係
 一〇三二 〃 〃 〃 〃 伊吹村絵図
 一〇三三 〃 〃 〃 〃 伊吹村所御取下絵図
 一〇三四 〃 〃 〃 〃 各郡部伊吹村絵図
 一〇三五 〃 〃 〃 〃 各郡部伊吹村(能方)出姓、付絵図也
 一〇三六 天保 三年辰八月 荒地改七して江戸御相方 差出絵図
 一〇三七 〃 〃 〃 〃 野田弁舟御役所江戸候絵図
 一〇三八 〃 〃 〃 〃 御相見之簡業、藤伊吹村絵図下書
 一〇三九 〃 〃 〃 〃 絵図
 一〇四〇 〃 〃 〃 〃 天保九年邑見下絵図
 一〇四一 〃 〃 〃 〃 絵図
 一〇四二 〃 〃 〃 〃 嘉永三年辰八月 富士二年八月大水地絵図
 一〇四三 〃 〃 〃 〃 御相見ノ井掛地絵図
 一〇四四 〃 〃 〃 〃 荒地並遊場所絵図
 一〇四五 安政 二年卯九月 絵図
 一〇四六 〃 〃 〃 〃 四年巳五月 絵図
 一〇四七 万延 元年申九月 絵図
 一〇四八 元治 元年子〇月 絵図
 一〇四九 〃 〃 〃 〃 下絵図
 一〇五〇 慶応 元年丑九月 絵図
 一〇五一 〃 〃 〃 〃 絵図
 一〇五二 〃 〃 〃 〃 二年寅九月 絵図
 一〇五三 〃 〃 〃 〃 四年辰九月 絵図

(追加分) 攝年のまま

1054	明治 六年酉	絵図面 第一六区一六ノ小区	1079	正徳 三年巳	諸国御料諸白姓被仰候御書付等
1055	〃 八年亥	御改正絵図面簿	1080	享保 五年壬子	濃州各務郡伊吹村年御年割付之事
1056	〃 二年	野取図集記	1081	〃 七年寅	濃州各務郡伊吹村裏御成割付之事
1077	年代 不詳	当村當地並下場絵図面	1082	〃 九年辰	濃州各務郡伊吹村裏御成ヶ割付之事
1088	〃 〃	絵図面	1083	〃 二〇年卯	伊弉年貢米金納地御勘定目録
1090	〃 〃	絵図面	1084	寛延 二年巳	巳年可納割付之事
1091	〃 〃	御極之筋差上候伊吹村絵図面下書	1085	宝暦 元年甲	大御物成米金御勘定仕目録
1092	〃 〃	絵図面	1086	〃 二年申	申年可納割付之事
1093	〃 〃	各務郡伊吹村耕地絵図面	1087	〃 三年酉	酉年可納割付之事
1094	〃 〃	田方絵図面	1088	〃 六年子	子御年貢可納割付之事
1095	〃 〃	各務郡伊吹村耕地絵図面	1089	〃 七年丑二月	丑御年貢可納割付之事
1096	〃 〃	御極之筋差上候絵図面下書	1090	〃 八年寅	寅御年貢可納割付之事
1097	〃 〃	絵図面下書 二十間ノ以寄積図	1091	〃 八年寅	寅御年貢米金御勘定仕目録
1098	〃 〃	美濃国伊吹村耕地巨細仕訳絵図	1092	〃 四年寅	寅御年貢米金御勘定仕目録
1099	〃 〃	柴田藩之筋差上候絵図面下	1093	〃 六年寅	寅御年貢可納割付之事
1099	〃 〃	絵図面	1094	天明 四年卯	卯御年貢米金御勘定仕目録
1099	〃 〃	御極毛岸本金八總極差上候絵図下書	1095	〃 六年未〇月	未御年貢可納割付之事
1099	〃 〃	絵図面	1096	寛政 六年寅	寅御年貢可納割付之事
1099	〃 〃	絵図面	1097	〃 十年三月	巳御年貢普濟目録
1099	〃 〃	絵図面	1098	文化 元年子	子御年貢可納割付之事
1099	〃 〃	絵図面	1099	〃 七年午	午御年貢普濟目録
1099	〃 〃	絵図面	1100	〃 二年戊四月	戊年貢普濟目録
1099	〃 〃	絵図面	1101	文政 二年丑	丑御年貢普濟目録

1101	元保 元年寅	寅御年貢可納割付之事
1102	〃 二年卯	卯御年貢可納割付之事
1104	〃 六年未〇月	未御年貢可納割付之事
1105	〃 七年申四月	申入申一札之事
1106	〃 一年子二月	差入申御請書之事
1107	弘化 五年申二月	申渡
1108	嘉永 三年酉一〇月	第十議一奉願之写
1109	〃 元年酉九月	年表以書付御届奉申上候
1110	〃 元年酉一〇月	年表以書付御届奉申上候
1111	〃 二年戌九月	年表以書付御届奉申上候
1112	〃 四年子二月	年表以書付御届奉申上候
1113	〃 三三 年代 不詳	年表口上書を以奉願上候御書
1114	〃 〃	年表書付多以御届奉申上候
1115	〃 〃	年表書付多以奉願上候
1116	〃 〃	奉書上御高之事
1117	〃 〃	奉書上御高之事
1118	〃 〃	年表以書付御届奉申上候
1119	〃 〃	年表以書付御届奉申上候
1120	〃 〃	字中別調

蘇原伊吹町の變遷

〔概 説〕

各務郡伊吹村、現各務原市蘇原伊吹町は、各務郡各地の中央最北端、埴川流域の南、海抜約二千五百メートルの台地中位面に位置し、台地下の低地に水田が広がる稲作主体の農地であった。

集落の源には、縄文時代から中世までの遺物が散布している。「島崎遺跡」や、「加佐見山古墳群」などの古墳時代の遺跡、白鳳後半期に創建されたと言われている「山田寺」や「平蔵寺」などの寺院跡、各務郡の式内社「平安時代に編纂された『延喜式』」に記載されている神社の中で最も社格が高い「飛鳥神社」や、八幡宮とも呼ばれていた「加佐美神社」などが所在し、古くから人が住み着いていた地域でもある。

「イブキ」の地名のおおむねは定かではないが、伊吹おろしの風を受けて鍾物の鐘が打たれたと伝えていること由来する」と一般的に言われている。これはおろし大正三年（一九〇二）御野間宗部中言十種に五百木部時亮の名があり、この五百木部が「早炊き、すなわち風を利用しての製鉄を通じて武器の生産、供給している」職掌の部であり、その五百木部の居住地から「伊吹」の地名が生れたという説である。

また応永十一年（一四一四）の加佐美神社（蘇原古市場町）の木札（放生去頭之次第）には、真名目、伊富貴目本、近野目、伊吹道本、宗実名、伊吹目本良・三郎と記載されている。このことから、室町期の名（一定の土地を占有する者）として伊富貴氏や伊吹氏がおり、その姓が転じて地名になったとも言えないことはないが、これらの説はやはり疑問がある。

伊吹村を地形的に眺めると、前述のように台地の端に位置し、その台地端の小山を侵襲するうちに埴川が流れてきているため、埴・崩崖などの崩壊地形を呈している。このことから土地条件を示す地形用語の「アブ・キ」が転じて「イブ・キ」となり、伊吹の好字を去ってたと考えられる。

前述の加佐美神社の「放生去頭之次第」の木札には、放生の頭人の名前が記載されている。それによっている「加佐美神社子区域」には三五の谷あり、その内の三ヶ所の名有力耕作者として、「伊吹」や「伊富貴」の姓を持つ人物名が記載されている。これが現在ところ、伊吹村に関連すると思われる「イブキ」が史料に現れてくる最初である。天正十七年（一九八〇）の野口村野帳に、野口村内名の八（耕作者）の出身地に「いぶき」と記されており、伊吹村の存在を在地の文書資料に見いだすことができる。

〔古 代〕

平安時代の飛平年間（九三二―七）に編纂された『和名類聚抄』によると、美濃国各務郡には村田・大塚・各務・那珂・木見・三井および御家十郷が載せられており、現在の蘇原伊吹地域もこの郷のいずれかの一つに含まれていた。しかしいままで見つけた郷を特定することは困難であるが、蘇原伊吹町の周辺には、白鳳後半期に創建されたと推測される山田寺跡・平蔵寺跡・野口庵寺および長者原敷墓が集まっていること、官道である東山道がこの地域を通っていたこと、式内社の飛鳥神社や加佐美神社が鎮座していること、各郷の生活産物となった水田などの関係などを総合的に考え合わせると、この地域に那部郷の主体的な部分を定めておくことも可能であり、現在の蘇原伊吹町地域も、この那部郷に含まれていたと考えてもよいのではなからうか。

また自観八年（八六六）頃のこの地域を支配していたのは、各務郡の大領であった各務氏である。各務氏は美濃郡の厚田部の大領も兼ね、その勢力を振るっていた豪族であった。

〔中 世〕

現存の蘇原地域で中世の村落名称がつかえるのは飛鳥郷・蘇原庄および蘇原郷だけであり、それを示す史料も断片的で、村落の領域をはっきりと示すには今のところできない。

飛鳥郷は鎌倉時代に名える郷名で、弘治六年（一一八三）四月五日の「大見行証書状」に「美濃国飛鳥郷」とみえる。この飛鳥郷の所在地については異説もあるが、飛鳥田郷を中心とした飛鳥・古市場および伊吹を含む現在の各務市蘇原地域内に比定できよう。

蘇原原は鎌倉時代末より室町時代にかけてみられる荘園名で、正治二年（一三五二）二月八日の「大見家家譜」に「美濃国蘇原庄内別友名地頭職」とみえる。この蘇原庄別友名は現在の加佐美神社の「放生去頭之次第」に記載されている三十五名の一つである。大見氏が地頭職を有していた別友は、蘇原古市場町にあった小字別友ではないかと推測される。

また蘇原郷は「陸源軒日録」長禄三年（一四五七）七月十五日条に「濃州蘇原郷内、拾遺分」とあり、蘇原郷の表記から田面領に連なるものと考えられるが、蘇原庄との関係や所在は不明である。

戦国時代の頃、加佐美神社の加佐見山（禰山）に八幡山城があったと言われている。付近には蘇原伊吹町の小字として「城原敷」「西原倉」、蘇原飛鳥町には「東久倉」、また蘇原古市場町に「倉掛」といって城に關係したと思われる字が残っている。この八幡山城には人見昇就が居住していたが、高藤龍興によって落城されたと伝えられている。いまその経緯をたどることはできないが、「美濃国書」にその子孫が或は一族の人見清次が文

祿二年（一九四二）二月十八日に、八幡宮（加佐佐神社）に所領の「部」を寄進した書状の写しが載せられている。

[近世]

慶長六年（一六〇〇）の股取元正等連署知行目録に「九百四十五石二斗八升 伊吹村」とあり、これにより伊吹村の石高が明確になる。伊吹村は同年六月に伊勢島の荒形氏領になるが、元和七年（一六二二）八月の国替えによって、幕府領となり明治維新に至っている。

明和五年（一七六八）の伊吹村絵図によると、現在の伊吹村絵図内と、現在蘇原寺島町地内は伊吹村内であり、また天保三年（一八三二）の伊吹村絵図によると、蘇原中子町地も伊吹村内であることがわかる。

文化十一年（一八五四）四に笠松役所へ差し出された「伊吹村明細書上帳」によれば、村高九百四十五石三斗八升、田反別「千九町一反四畝六歩、畑反四十三町一反畝六歩半、家数八十二軒、人数三百八十四人、馬五疋」となっている。また明治元年（一八六九）六月に笠松領役所へ差し出された「伊吹村差出明細帳」によると、村高九百四十五石二斗八升、田反別「三十七町五畝三歩、畑反別四十五町三反一畝六歩、家数百十軒、人数四百七十七人、馬五疋」となっている。

[近現代]

明治四年（一八七二）七月の廃藩置縣によって、伊吹村は笠松県の管轄となり、同年十一月美濃の統合により岐阜県に所属した。明治六年（一八七三）大区小区の施行により、伊吹村は、野口村・東田村・坂井村・東鳩村・熊田村・飛島村・島崎村・柿沢村・高代村・大島村および古市場村とともに第一大区第十六大区の中編入されている。明治八年（一八七五）一月には伊吹村・飛島村・島崎村および手臣衛田の四か村が合併して伊勢島村となり、明治七年（一八八四）十月には伊勢島村・大谷村・和市場村・持田村の五か村による伊勢島村四か村連合役場が置かれ、明治二十二年（一八九七）七月には三野村が加わり伊勢島村五か村組合役場となっている。そして明治三十年（一九〇七）四月から郡村が改定され、厚見郡・各務郡および美濃郡の一部を以て稲葉郡、伊勢島村外五か村は合併して稲葉郡蘇原村となった。

昭和十八年（一九四三）四月に町村制を施行し蘇原町となり、昭和十八年（一九六三）四月には蘇原町・那加町・稲羽町および鶴沼町の四町が合併して各務原市となり、伊吹地域を務原市蘇原伊吹町となって現在に至っている。ちなみに平成元年（一九八九）十月現在の伊吹町の人口は百八十八人（男百八十四人、女百九十八人）、世帯数七十八世帯である。

編集後記

本館では、市内の文化遺産保存のため基礎資料の調査・収集事業を推進しています。その事業成果の一環として「各務原市資料調査報告書」の逐次刊行を企画し、既に十一冊を刊行してきました。今回発刊する「文書史料目録 五」は文書史料目録第一号から第四号までの発刊以後、平成二年三月までに新しく所在が確認できた蘇原伊吹町広報会所蔵文書を分類・整理し収録することになりました。

在地の古文書の多くは、その性格、両外不出となつて目の目を見ないまま旧家の土蔵や、今回のように広報会に伝わり、広報会長宅や公民館の片隅で眠っているというケースが多いようです。前回までに個人四十三件、広報会等の団体二十一件、文書数一四、〇〇〇点余の古文書を調査・整理してきました。その後新たに、伊吹町広報会に「一、二〇〇点余の古文書が所蔵されていることが発見されました」「文書史料目録 五」として発刊し踏み切りました。

本書を先の四冊と共に地域史研究の基礎資料の手引きとして利用するとともに文化遺産の保存に役立てていきます。

この「文書史料目録 五」の発刊に際し、文書をご提出いただきました伊吹町広報会の皆さまの御厚意に深く感謝を申し上げます。すこどもに、このような貴重な古文書が未永く保存されていきますことを願つてやみません。

平成二年三月二十三日

各務原市歴史民俗資料館

館長

永井八郎

千支早見表(1)

十文	年号(南朝)	年号(北朝)	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆
丙子	延元 1	建武 3	1336	永泰 3	1396	康正 2	1456	永正 13	1516	大正 4	1576
丁丑	2	4	1337	4	1397	庚辰 1	1457	14	1517	5	1577
戊寅	3	朔 1	1338	5	1398	2	1458	15	1518	6	1578
己卯	4	2	1339	6	1399	3	1459	16	1519	7	1579
庚辰	朔 1	3	1340	7	1400	4	1460	17	1520	8	1580
辛巳	2	4	1341	8	1401	2	1461	18	1521	9	1581
壬午	3	5	1342	9	1402	3	1462	2	1522	10	1582
癸未	4	6	1343	10	1403	4	1463	3	1523	11	1583
甲申	5	7	1344	11	1404	5	1464	4	1524	12	1584
乙酉	6	8	1345	12	1405	6	1465	5	1525	13	1585
丙戌	7	9	1346	13	1406	7	1466	6	1526	14	1586
丁亥	8	10	1347	14	1407	8	1467	7	1527	15	1587
戊子	9	11	1348	15	1408	9	1468	8	1528	16	1588
己丑	10	12	1349	16	1409	10	1469	2	1529	17	1589
庚寅	11	1	1350	17	1410	2	1470	3	1530	18	1590
辛卯	12	2	1351	18	1411	3	1471	4	1531	19	1591
壬辰	1	3	1352	19	1412	4	1472	5	1532	20	1592
癸巳	2	4	1353	20	1413	5	1473	2	1533	21	1593
甲午	3	5	1354	21	1414	6	1474	3	1534	3	1594
乙未	4	6	1355	22	1415	7	1475	4	1535	4	1595
丙申	5	7	1356	23	1416	8	1476	5	1536	5	1596
丁酉	6	8	1357	24	1417	9	1477	6	1537	2	1597
戊戌	7	9	1358	25	1418	10	1478	7	1538	3	1598
己亥	8	10	1359	26	1419	11	1479	8	1539	4	1599
庚子	9	11	1360	27	1420	12	1480	9	1540	5	1600
辛丑	10	12	1361	28	1421	13	1481	10	1541	6	1601
壬寅	11	1	1362	29	1422	14	1482	11	1542	7	1602
癸卯	12	2	1363	30	1423	15	1483	12	1543	8	1603
甲辰	1	3	1364	31	1424	16	1484	13	1544	9	1604
乙巳	2	4	1365	32	1425	17	1485	14	1545	10	1605
丙午	3	5	1366	33	1426	18	1486	15	1546	11	1606
丁未	4	6	1367	34	1427	19	1487	16	1547	12	1607
戊申	5	7	1368	35	1428	2	1488	17	1548	13	1608
己酉	6	8	1369	36	1429	3	1489	18	1549	14	1609
庚戌	7	9	1370	37	1430	4	1490	19	1550	15	1610
辛亥	8	10	1371	3	1431	3	1491	20	1551	16	1611
壬子	9	11	1372	4	1432	4	1492	21	1552	17	1612
癸丑	10	12	1373	5	1433	5	1493	22	1553	18	1613
甲寅	11	1	1374	6	1434	3	1494	23	1554	19	1614
乙卯	12	2	1375	7	1435	4	1495	24	1555	20	1615
丙辰	1	3	1376	8	1436	5	1496	2	1556	2	1616
丁巳	2	4	1377	9	1437	6	1497	3	1557	3	1617
戊午	3	5	1378	10	1438	7	1498	4	1558	4	1618
己未	4	6	1379	11	1439	8	1499	2	1559	5	1619
庚申	5	7	1380	12	1440	9	1500	3	1560	6	1620
辛酉	6	8	1381	13	1441	10	1501	4	1561	7	1621
壬戌	7	9	1382	2	1442	2	1502	5	1562	8	1622
癸亥	8	10	1383	3	1443	3	1503	6	1563	9	1623
甲子	9	11	1384	4	1444	4	1504	7	1564	10	1624
乙丑	10	12	1385	2	1445	2	1505	8	1565	2	1625
丙寅	11	1	1386	3	1446	3	1506	9	1566	3	1626
丁卯	12	2	1387	4	1447	4	1507	10	1567	4	1627
戊辰	1	3	1388	5	1448	5	1508	11	1568	5	1628
己巳	2	4	1389	6	1449	6	1509	12	1569	6	1629
庚午	3	5	1390	2	1450	7	1510	元 1	1570	7	1630
辛未	4	6	1391	3	1451	8	1511	2	1571	8	1631
壬申	5	7	1392	4	1452	9	1512	3	1572	9	1632
癸酉	6	8	1393	2	1453	10	1513	4	1573	10	1633
甲戌	7	9	1394	3	1454	11	1514	5	1574	11	1634
乙亥	8	10	1395	4	1455	12	1515	3	1575	12	1635

○北朝元月 □北魏元月

千支早見表(2)

十文	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆
丙子	寬永 13	1636	元禄 9	1696	享保 6	1756	文仁 8	1816	明治 9	1876
丁丑	14	1637	10	1697	7	1757	9	1817	10	1877
戊寅	15	1638	11	1698	8	1758	文政 1	1818	11	1878
己卯	16	1639	12	1699	9	1759	2	1819	12	1879
庚辰	17	1640	13	1700	10	1760	3	1820	13	1880
辛巳	18	1641	14	1701	11	1761	4	1821	14	1881
壬午	19	1642	15	1702	12	1762	5	1822	15	1882
癸未	20	1643	16	1703	13	1763	6	1823	16	1883
甲申	正保 1	1644	宝永 1	1704	明和 1	1764	7	1824	17	1884
乙酉	2	1645	2	1705	2	1765	8	1825	18	1885
丙戌	3	1646	3	1706	3	1766	9	1826	19	1886
丁亥	4	1647	4	1707	4	1767	10	1827	20	1887
戊子	慶安 1	1648	5	1708	5	1768	11	1828	21	1888
己丑	2	1649	6	1709	6	1769	12	1829	22	1889
庚寅	3	1650	7	1710	7	1770	天保 1	1830	23	1890
辛卯	4	1651	8	1711	8	1771	2	1831	24	1891
壬辰	5	1652	2	1712	2	1772	3	1832	25	1892
癸巳	6	1653	3	1713	3	1773	4	1833	26	1893
甲午	7	1654	4	1714	3	1774	5	1834	27	1894
乙未	8	1655	5	1715	4	1775	6	1835	28	1895
丙申	9	1656	6	1716	5	1776	7	1836	29	1896
丁酉	3	1657	2	1717	5	1777	8	1837	30	1897
戊戌	万治 1	1658	7	1718	7	1778	9	1838	31	1898
己亥	2	1659	4	1719	8	1779	10	1839	32	1899
庚子	3	1660	5	1720	9	1780	11	1840	33	1900
辛丑	寛文 1	1661	6	1721	1	1781	12	1841	34	1901
壬寅	2	1662	7	1722	2	1782	13	1842	35	1902
癸卯	3	1663	8	1723	3	1783	14	1843	36	1903
甲辰	4	1664	9	1724	4	1784	弘化 1	1844	37	1904
乙巳	5	1665	10	1725	5	1785	2	1845	38	1905
丙午	6	1666	11	1726	6	1786	3	1846	39	1906
丁未	7	1667	12	1727	7	1787	4	1847	40	1907
戊申	8	1668	13	1728	8	1788	5	1848	41	1908
己酉	9	1669	14	1729	9	1789	6	1849	42	1909
庚戌	10	1670	15	1730	3	1790	3	1850	43	1910
辛亥	11	1671	16	1731	3	1791	4	1851	44	1911
壬子	12	1672	17	1732	4	1792	5	1852	45	1912
癸丑	1	1673	18	1733	5	1793	6	1853	46	1913
甲寅	2	1674	19	1734	6	1794	安政 1	1854	47	1914
乙卯	3	1675	20	1735	7	1795	2	1855	4	1915
丙辰	4	1676	1	1736	8	1796	3	1856	5	1916
丁巳	5	1677	2	1737	9	1797	4	1857	6	1917
戊午	6	1678	3	1738	10	1798	5	1858	7	1918
己未	7	1679	4	1739	11	1799	6	1859	8	1919
庚申	8	1680	5	1740	12	1800	万治 1	1860	9	1920
辛酉	天和 1	1681	6	1741	享和 1	1861	文久 1	1861	10	1921
壬戌	2	1682	2	1742	2	1802	2	1862	11	1922
癸亥	3	1683	3	1743	3	1803	3	1863	12	1923
甲子	4	1684	4	1744	4	1804	元治 1	1864	13	1924
乙丑	2	1685	2	1745	2	1805	2	1865	14	1925
丙寅	3	1686	3	1746	3	1806	2	1866	15	1926
丁卯	4	1687	4	1747	4	1807	3	1867	2	1927
戊辰	11	1688	5	1748	5	1808	4	1868	3	1928
己巳	2	1689	2	1749	6	1809	明治 1	1869	4	1929
庚午	3	1690	3	1750	7	1810	3	1870	5	1930
辛未	4	1691	4	1751	8	1811	4	1871	6	1931
壬申	5	1692	2	1752	5	1812	5	1872	7	1932
癸酉	6	1693	3	1753	10	1813	6	1873	8	1933
甲戌	7	1694	4	1754	11	1814	7	1874	9	1934
乙亥	8	1695	5	1755	12	1815	8	1875	10	1935

○北朝元月 □北魏元月

各務原市文書史料目録五

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

各務原市資料調査報告書第十一号

各務原市文書史料目録五

平成二年三月十三日

編集◎ 各務原市歴史民俗資料館

各務原市那加坂町二丁目一八六番地

☎(系)八三二二(内)三三三

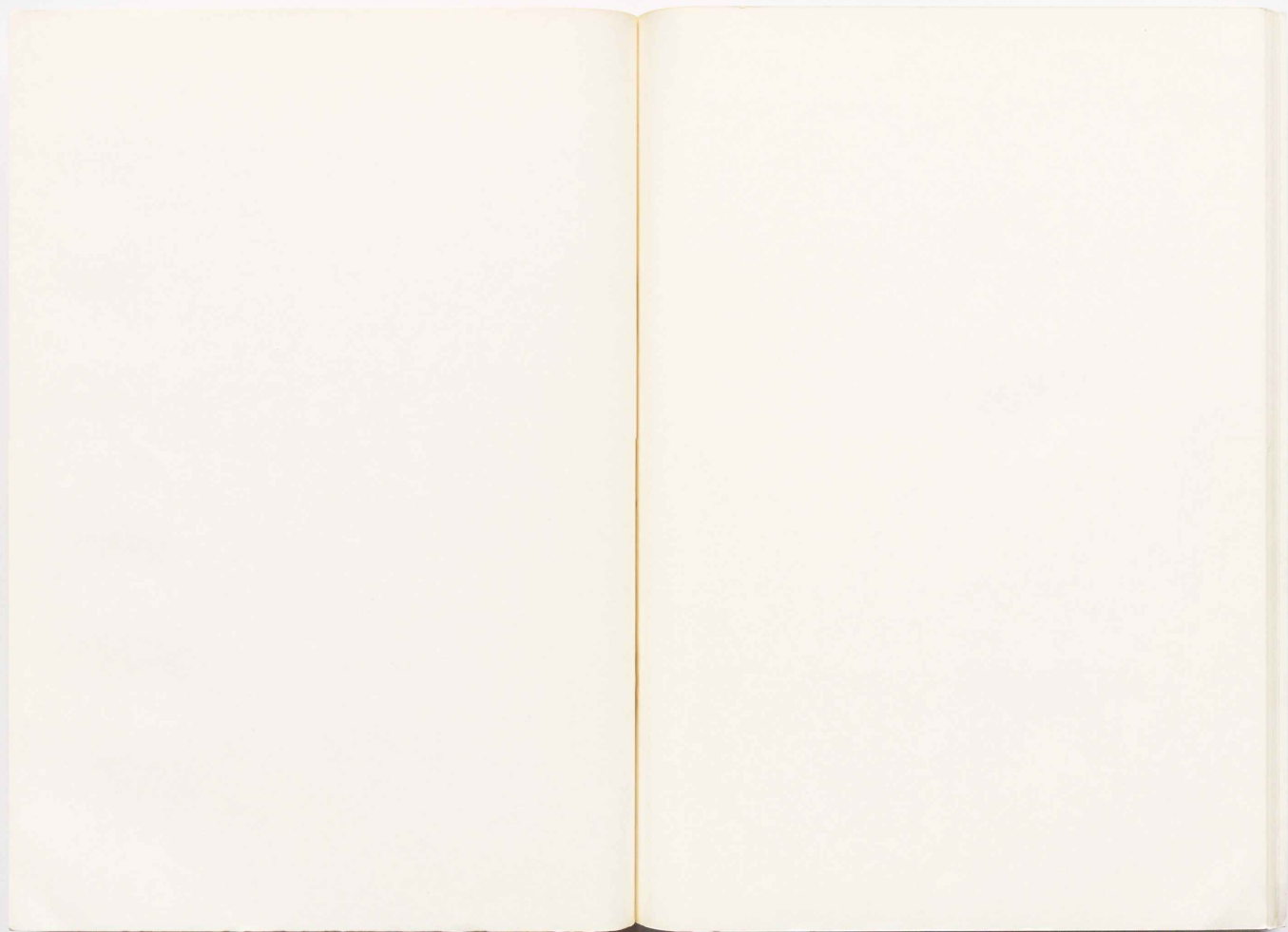
振替 名士店五七三二 各務原市

印刷 ㈱イナバ印刷社

各務原市上戸町七丁目

各務原市図書館蔵書





各級原中國書館



110207891



25
力
5